

農業委員・農地利用最適化推進委員を 募集します！！

令和5年7月に農業委員等の改選があります。詳細情報や推薦・応募にご興味のある方は、碧南市農業委員会へお問い合わせください。

1. 農業委員の仕事

農地の権利移動の許可、違反転用の早期発見と是正指導、毎月の農業委員会総会及び各種会議等への参加

2. 農地利用最適化推進委員の仕事

担当区域内において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止と解消に向けた現場活動、地区審査会への参加

3. 対象

農業に関する見識を有し、農地等の利用推進に関する事項等に対して、適切に職務を遂行できる方

4. 任期

令和5年7月下旬から3年間

5. 募集人数

農業委員	11名
農地利用最適化推進委員	9名



6. 募集期間

令和5年2月1日（水）から2月28日（火）まで（一ヶ月間）

7. 選任方法

推薦・公募を行い、締切後、応募状況を公表します。その後、候補者の審査を行い、決定します。

《問合せ先》 農業委員会事務局 TEL：0566-95-9898（直通）



フレッシュ新規就農者

令和3年度碧南市新規就農者激励



【質問】

- ① 主な作物は？
- ② 趣味や興味のあることは？
- ③ 農業について感じることは？
- ④ 将来の夢は？

吹出 地域の皆さんへ一言！



- ① にんじん
たまねぎ
- ② 旅行
ドライブ
- ③ やりがいのある仕事だ
と思います
- ④ 一人前の農家になること

よろしくお願ひします

むらかみ るい
村上 瑠惟 【大浜地区】



- ① にんじん
たまねぎ
とうもろこし
- ② 音楽鑑賞
- ③ やりがいのある職業だ
と感じています
- ④ ひとまず、現在の作業
内容をスムーズにこな
せるようになりたい

がんばります

こざわ じゅん
小澤 潤 【棚尾地区】



地域計画の策定及び農業振興地域整備計画見直しに係るアンケート調査を実施します

碧南市では令和5、6年度にかけて地域計画（人・農地プラン）の策定と「農業振興地域整備計画」の見直しを行う予定です。

地域計画とは、これまで、人・農地プランと呼ばれていた計画から新たに法定化された計画のことで、地域の農地を適切に利用していただくため、地域での話し合いを通じ、今後どのような担い手为中心となり、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するものです。

「農業振興地域整備計画」は、今後長期にわたって農業を振興する地域を明らかにし、後の整備と農業の発展を図るものです。

令和6年度に地域計画の策定及び「農業振興地域整備計画」の見直しを行う予定ですが、令和5年度は、計画の策定・見直しの基礎資料を作成するため、アンケート調査を行ってまいります。

碧南市の農業施策の在り方を決める重要な調査です。ご協力をよろしくお願いいたします。



農業者年金に加入しましょう

1) 農業者なら広く加入ができる

①年間60日以上農業従事 ②国民年金の第1号被保険者 ③20歳以上60歳未満
例外はありますが、基本的には上記の3つの条件を満たしていれば加入が可能です。

2) 積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い

保険料を支払っている方の数や年金を受給している方の数が変化しても、影響を受けない財政的に安定した制度となっています。

3) 保険料の額（2万円～6万7千円）は自由に決められる

通常加入（保険料の国庫補助を受けない加入）の場合、保険料を範囲内で自由に設定することができ、金額を途中で変更することも可能です。

4) 終身年金。80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金がある

65歳から生涯、年金を受け取ることができます。また、仮に80歳前に亡くなられた場合であっても、死亡した翌月から80歳到達月までに受け取れる予定であった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、「死亡一時金」として遺族に支給されます。

5) 税制面の優遇措置が大きい

保険料の全額が「社会保険料控除」になる等、節税効果が期待できます。

6) 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

要件を満たす方に限られますが、月額4千円～1万円の国庫補助が受けられる場合があります。

メリットがたくさんある
終身年金です！



詳しいことを知りたい方、加入に興味がある方は農業委員会または農業者年金基金（電話：03-3502-3199、03-3502-3942）までご連絡ください



賃借料情報



令和3年度中の利用権設定
10アールあたりの賃貸借実勢価格



農業委員会では農地の賃借料情報の提供をしています。昨年度の状況は下記のとおりです。農地の賃借価格の参考にしてください。

農地	最低価格	最高価格	平均額	件数
田	11,000円	16,000円	11,800円	384件
畑	11,000円	28,000円	20,000円	261件

※平均額は、1000円単位で四捨五入。平均値±（平均値×7割）を超えるものは除く。使用貸借、ハウス等は除く。



農地パトロールを行いました



農業委員会では、毎年8月～10月にかけて農地パトロールを実施しています。

市内の農振農用地を中心に、違反転用や遊休農地の調査をしています。該当農地には、所有者に対して指導文書を送付すると共に聞き取り等を行い、改善に向けての指導を行っています。

農家の皆様におかれましては、適切な農地管理をお願いします。

令和3年度 要指導農地面積 (㎡)	
新川・西端地区	26,662
旭地区	12,335
大浜・棚尾地区	18,802
合計	57,799



令和4年度 要指導農地面積 (㎡)	
新川・西端地区	31,346
旭地区	10,516
大浜・棚尾地区	30,965
合計	72,827

編集後記



昨年5月に起きた明治用水頭首工の漏水事故は、国や県を始め関係者の知恵と努力、そして農業者の皆さんの譲り合いで、無事に実りの秋を迎えることができました。

大幅な給水制限で思い出されるのは、約30年前の平成始めの夏に起きた大渇水です。この年は、梅雨に入っても矢作川上流にほとんど降雨がなく、頭首工に貯水ができず、大節水を余儀なくされました。

当時、在籍していた企業グループの総帥からは、「この時期に工業用水を25%も企業にいただけるだけ有難く思え。お百姓さんから大切な水を分けてもらっているんだ！真剣に取り組み。深刻になるな。」との訓示がありました。これを受けて、節水対策と深井戸の活用で関係企業と協力し、各社の生産を止めることなくピンチを乗り切ったことがありました。

昨今、ICTを駆使したスマート農業が普及しつつありますが、今一度、水の大切さを痛感し、「水あつての農業」ということを肝に銘じたいと思います。

(K.I)



第14回編集委員会

藤浦利吉 (委員長)

石川清勝 (新川)

長谷部 実 (大浜)

永坂邦男 (棚尾)

山中力四郎 (旭)

杉浦孝明 (西端)